

13年4-12月期決算、営業利益7.7%減少

ハマキョウ、既存拠点の物量減で減益

Edited By LogisticsToday On 2014/01/30

ハマキョウレックスが30日に発表した2013年4-12月期決算は、営業利益が7.7%減、最終利益も9%の減益となった。物流センター事業（3PL事業）で既存顧客の物量が減少したのが響いた。

物流センター事業は売上高が333億2000万円で1.4%増を確保したものの、既存物流センターの物量減少により、営業利益は32億9000万円で11.7%の減益となった。

ただ、新規受託は年間15社の受託目標に対し、13社の物流を受託しており、同社は「順調」を強調している。前期に受託した5社を含む18社のうち、13社が稼働している。残る5社は2月以降の稼働を目指して準備を進める。

これらにより、物流センターの総数は新規受託による増加と既存荷主の減少で76センターとなった。

[ハマキョウレックス] 2014年3月期第3四半期連結決算（単位：百万円）

	2014年3月期第3四半期	2013年3月期第3四半期	増減
売上高	69,372	67,999	2.0%
営業利益	4,720	5,113	-7.7%
経常利益	4,878	5,204	-6.3%
当期純利益	2,425	2,665	-9.0%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/93500>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.